



ショパン没後150年記念

ショパン・レディーズ ストリングス・オーケストラ

1999.10.11 [月] October 11, 1999

アクトシティ浜松 中ホール

19:00開演(18:30開場)

全席自由席(税込)

一般¥2,000 学生¥1,000

チケット発売日

友の会発売…平成11年7月3日(土) 10:00～ 一般チケット発売…平成11年7月10日(土)

チケット発売所

アクトシティチケットセンター／ヤマハミュージック浜松／遠鉄百貨店プレイガイド／松菱チケットぴあ／カワイM・OAセンター／アオイ楽器店
全国チケットぴあ取扱店(電話予約・☎052-320-9999) 全国チケットセゾン取扱店(電話予約・☎052-290-9999)

主催

浜松市、(財)アクトシティ浜松運営財団

後援

静岡新聞社・SBS静岡放送、K・MIX、FM Harol、ポーランド共和国大使館

(注意事項)

※出演者の都合により、配役その他に変更がある場合がございます。予めご了承ください。

※乳幼児等就学前のお子様の同伴、入場はご遠慮願います。

※お申し込みいただいたチケットのキャンセル・変更等はお受けいたしません。

お問い合わせ

(財)アクトシティ浜松運営財団 ☎053-451-1114

Chopin Ladies Strings Orchestra

ショパン・レディーズ・ストリングス・オーケストラ

このオーケストラの母体はポーランド国立ショパン音楽院(ワルシャワ音楽院)で、もともとショパン・ミュージック・アカデミー・オーケストラのメンバーの中から弦楽部門の女性演奏者によって編成されているものであり、メンバーは全員が音楽院の教授達によって厳選された奏者とプロフェッショナルな音楽家で編成されています。ショパン・アカデミー(ショパン音楽院)オーケストラとしての演奏活動は大変古く数十年の活動歴を持ちますが、ショパン音楽院に所属している音楽家達が正規メンバーでありますために、メンバーが変わることも多くその度に音楽院は絶えずオーディションを行って、厳選された演奏者による演奏活動を続けております。今回、アクトシティ浜松での演奏が日本への初公演で、曲目もポップなものとはクラシックなものを音楽院教授のアンジェイ・ヴロベル氏の編曲で演奏され、ショパン・ノクターンも初めてストリングスに編曲して演奏し、ショパン没後150年記念と浜松市・ワルシャワ市 音楽文化友好交流の記念演奏といたします。大変アカデミックな伝統を持つショパン音楽院オーケストラがポップミュージックを演奏するという画期的なプログラムはポーランド文化芸術省対外文化局長アンナ・ニエビアドムスカ女史とショパン音楽院国際ナショナル部長マリア・ネウエゲバウ女史の協力と賛同によって実現したものであります。



ポーランド国立ショパン音楽院(ワルシャワ音楽院)

ワルシャワ音楽院の創立は1810年と大変古く、後に大変著名な音楽家達がこの音楽院で学んでおります。奇しくも1810年はフレデリック・ショパンの生まれた年でもあります。ショパンはこの学院に1826年に入学し3年間学んでいます。メヌエットの作曲で有名なパデレフスキ(1860~1941)はポーランド共和国初代大統領でもありましたが彼もこの音楽院を卒業し1909年には音楽院院長に就任しております。ピアニストのルビンSTEIN、著名な作曲家ルトスワフスキ等のポーランドの誇る有名な音楽家のほとんどがこのワルシャワ音楽院(後にショパン音楽院)に学んでいることを考えても如何にこの音楽院が素晴らしいものであるか理解できます。ポーランド音楽の殿堂といっても過言ではないと思います。ショパンがこの学院を卒業していることで『ショパン音楽院』の名で大変親しまれ、日本からの留学生も多く、ショパン・ピアノコンクールと共に日本人ピアニストには思いで深い音楽院でもありましよう。



ショパン・レディーズ・ストリングス・オーケストラ 演奏曲目(予定)

①ボッケリーニ・メヌエット

この曲は弦楽五重奏曲の中のホ長調5番第3楽章で演奏されるもので、ボッケリーニのメヌエットとして大変親しまれ、よく知られている。

②ベートーヴェン・メヌエット

ト長調メヌエット第二番は一般にはベートーヴェンのメヌエットと呼ばれるほど有名である。6つのメヌエットとして管楽器のために作曲されたものの第2曲にあたる。

③シューベルト・セレナーデ

歌曲集『白鳥の歌』の第4曲。セレナーデとはもともと夜に恋人の家の窓辺で歌われる恋の歌のことを指す。これが18世紀には雰囲気づくりのための宴会用音楽となり19世紀に器楽曲としてその名が使われるようになった。

④マルティーニ・愛の喜び

ドイツ生まれの作曲家で、パリで活躍したマルティーニは後にパリ音楽院の監督にもなり12曲の歌劇と室内楽曲等を作曲しているが、この『愛の喜び』のみが一般に知られている。

⑤エルガー・愛の挨拶

近代イギリスが生んだ作曲家エルガーは最初オルガニストとして出発したが、後にイギリスのヘンリー・ロバート卿の娘キャロリンと結婚し、彼女に才能を見出されて作曲に専念したといわれる。この『愛の挨拶』はFM放送の音楽番組のテーマ曲として使用してから大変ポピュラーになった曲である。

⑥シューマン・トロイメライ

有名なピアノ曲集『子供の情景』の中に含まれている作品15の7番目がこの『トロイメライ』である。

⑦タルレガ・アルハンブラの思い出

ギターを弾きたいと思う人が一番先に望むのが、このフランシスコ・タルレガの曲だといわれる。タルレガが南スペイン、グラナダ地方にあるアルハンブラ宮殿を訪れ、その印象をもとにギター独奏曲として作曲した。

⑧クライスラー・愛の喜び

⑨クライスラー・愛の悲しみ

ヴァイオリニストとして世界的名声を博したフリッツ・クライスラーは、自分の演奏会用として沢山の小品作曲している。この2曲はヴァイオリン曲であるが、ウィーン地方の古い民謡によるワルツ形式の曲である。

⑩ドビュッシー・亜麻色の髪の乙女

前奏曲集24曲の中の第1集8曲目がこの曲である。フランスの詩人の詩の印象から作曲されたといわれ、スコットランドの乙女の肖像から受けた感動を現しているともいわれる。

⑪ミヨー・ブラジル

ダリウス・ミヨー(1892~1974)フランス生まれのミヨーは第一次世界大戦後のフランスの代表的な作曲家。ブラジルに滞在したこともありブラジルの思い出という12曲も有名だが、作品はあらゆる分野にわたって沢山書かれている。今回演奏されるのは『組曲スカラムーシュ』の中からサンバ・ブラジル。

⑫リスト・愛の夢

19世紀最大のピアニストといわれたリストには『三つの夜想曲』という表示をされた作品があり、この『愛の夢』は第三番目の曲である。もともと歌曲として作曲されたものをピアノ用に編曲されたもので、その甘美な旋律は多くの人々に愛されている。

⑬ノスコフスキ・ユーモラスな四重奏

ジグムント・ノスコフスキ(1846~1909)はポーランドの作曲家でワルシャワ音楽院を卒業し、後にワルシャワ音楽協会の設立に携わり、国立ワルシャワ・フィルハーモニーの指揮者として活躍、1886年からワルシャワ音楽院の教授として教鞭をとった。この『ユーモラスな四重奏』は彼の代表的な作品。

⑭ビートルズ・イエスタディ

1960年代の若者たちに熱狂的に迎えられたイギリスのロック・グループ、ザ・ビートルズの代表的な作品。

⑮ペテルスブルスキ・タンゴ・ミロンガ

イェジ・ペテルスブルスキはポーランドの作曲家。ポーランドの唯一のタンゴを作曲しポーランドのタンゴと言えばこの曲を指す。日本では大変ポピュラーで淡谷のり子や菅原洋一が盛んにビッグバンドの伴奏で歌った。第二次世界大戦後に日本で一時期タンゴの全盛期があり、この曲は懐かしのタンゴとも言えよう。

⑯コスマ・枯葉

シャンソンの名曲として有名。作曲家のジョセフ・コスマはハンガリー生まれでブタペスト音楽院に学び、パリに定住してから映画音楽、オペレッタ、バレエ音楽などを作曲したが、コスマ歌曲集の中で『枯葉』が一番のヒットとなった。この枯葉は映画『夜の門』の中でイヴ・モンタンが歌い世界に知られた。

⑰ショパン・ノクターン第二番変ホ長調作品9-2

ショパンのノクターンは全部で21曲あるが、変ホ長調はハリウッド映画の『愛情物語』の中でトゥ・ラヴ・アゲインという名で映画音楽化され、ピアノの詩人として世界的に有名なカーメン・キャパレロが弾いて益々ポピュラーになった。

※曲目は、演奏者の都合により変更する場合があります。

アクトシティ浜松友の会

「ビバーチェクラブ」会員募集中!!

- 電話1本で優先的にチケット予約
- 財団主催事業における入場料金10%割引
- コンサート情報満載の情報誌の郵送
- オークラクトシティホテル浜松の利用サービス 他

メインカード
(クレジット会員)



フレンドリーカード
(一般会員)

●年会費(消費税込)

クレジット会員:3,000円/一般会員:2,000円

※ただし、クレジット会員はクレジットカード年会費1,312円(消費税込)別途必要

●お問い合わせ

アクトシティ浜松友の会「ビバーチェクラブ」事務局 ☎053-451-1115

●アクトシティ浜松の情報をインターネットでご覧いただけます。

ホームページアドレス <http://www.city.hamamatsu.shizuoka.jp/actcity/>

